

本校普通科2年の総合的な探究の時間「ちくりん学」の活動が、南日本新聞に掲載されましたので紹介します。



**町内の課題解決
外部講師と探る**
薩摩中央高2年

さつま町の薩摩中央高校で、町内の課題とその解決策を考える探究の時間があつた。写真。普通科の2年生11人が、伝統芸能や観光

資源について外部講師と意見を交わし、今後の探究活動の進め方など助言を受けた。

15日あり文化、観光、商業の3班に分かれ、地域おこし団体メンバーら講師3人とそれぞれ語った。商業班は特産品の竹細工に注目、販売方法や町内外への周知に関する課題を議論した。講師から「地元の高校生がPR映像を作れば効果は大きい」といった提案もあつた。

今後、関係者への取材なども予定する。観光班の山之口瑛皓さんは「視点を変えらることで、さまざまな解決法があることを知れた」と話した。(山田天真)